

実験実習機器センター

1 構 成 員

	平成 25 年 3 月 31 日現在
教授	0 人
准教授	1 人
講師（うち病院籍）	0 人 (0 人)
助教（うち病院籍）	0 人 (0 人)
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人
医員	0 人
研修医	0 人
特任研究員	0 人
大学院学生（うち他講座から）	0 人 (0 人)
研究生	0 人
外国人客員研究員	0 人
技術職員（教務職員を含む）	13 人
その他（技術補佐員等）	3 人
合計	17 人

2 教員の異動状況

小島俊男（准教授）（H22.4.1～現職）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 24 年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	9 編 (3 編)
そのインパクトファクターの合計	16.56
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編
そのインパクトファクターの合計	0.00
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0 編 (0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00
(4) 著書数（うち邦文のもの）	0 編 (0 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編 (0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 村中祥悟：走査電子顕微鏡試料作製過程と観察時におけるアーティファクト. 医学生物学電子顕微鏡技術学会誌, 26(1), 28-29, 2012.
2. 太田 勲, 作田祐介, 熊切葉子, 村中祥悟：分子観察にイオンクリーナー装置を用いた高解像度 SEM 試料作製. 医学生物学電子顕微鏡技術学会誌, 26(2), 82, 2012.

3. Kojima T, Higo N, Sato A, Oishi T, Nishimura Y, Yamamoto T, Murata Y, Yoshino-Saito K, Onoe H, Isa T: Functional annotation of genes differentially expressed between primary motor and prefrontal association cortices of macaque brain. *Neurochem Res*,38(1),133-40, 2013.

4. Kojima T, Ueda Y, Sato A, Sameshima H, Ikenoue T: Gene network analysis to determine the effects of antioxidant treatment in a rat model of neonatal hypoxic-ischemic encephalopathy. *J Mol Neurosci*, 49(2),320-7,2013.

インパクトファクターの小計 [4.74]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. 山濱由美, 村中祥悟, 濱元千絵子, 針山孝彦：細胞・組織の成分流失を少なくする TEM 試料作製方法の検討 2～走査透過電子顕微鏡（STEM）を用いた低コントラスト試料の画像改善～. *医学生物学電子顕微鏡技術学会誌*,26(2),85,2012.

2. Sakabe J, Ohta I, Hirakawa S, Tokura Y: Co-localization of kallikrein5 and profilaggrin in monomers by kallikrein5 downmodulation. *Journal of Dermatological Science*,69 (2),e40,2013.

インパクトファクターの小計 [3.71]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Hamada N, Fujita Y, Kojima T, Kitamoto A, Akao Y, Nozawa Y, Ito M: MicroRNA expression profiling of NGF-treated PC12 cells revealed a critical role for miR-221 in neuronal differentiation. *Neurochem Int*, 60(8),743-750,2012

2. Ueda Y, Tokashiki S, Kanemaru A, Kojima T: Effect of Zonisamide co-administration with levodopa on global gene expression in the striata of rats with Parkinson's disease. *Biochem Biophys Res Commun*, 428(3),401-4, 2012.

3. Yamaoka Mayumi, Yamashita Mitsuji, Yamada Manabu, Fujie Michio, Kiyofuji Keita, Ozaki Nobuhisa, Asai Kazuhide, Niimi Taishi, Suyama Takuya, Yamashita Junko, Sawada Akiho, Makita Reiko, Sugiyama Masaki, Toda Mitsuo, Nakamura Satoki, Ohnishi Kazunori:Synthesis and evaluation of novel phosphasugar anticancer agents. *Pure and Applied Chemistry*, 84(1), 37-48 ,2012.

インパクトファクターの小計 [8.11]

4 特許等の出願状況

	平成 24 年度
特許取得数（出願中含む）	4 件

1. 特許番号：特許第 5117064 号

登録日：平成 24 年 10 月 26 日

名称：含リン化合物及び抗腫瘍剤

発明者：山下光司、藤江三千男

2. 特許番号: 特許第 5182864 号

登録日：平成 25 年 1 月 25 日

名称：電子顕微鏡用試料ホルダおよび電子顕微鏡

発明者：村中祥悟、太田 勲

3. 出願番号: PCT/JP2012/063998

出願日：平成 24 年 5 月 30 日

名称：再利用可能な酸化オスミウム(VIII)の回収

発明者：鈴木一成、村中祥悟

4. 出願番号: PCT/JP2012/072982

出願日：平成 24 年 9 月 7 日

名称：生物試料をそのままの姿で観察するための電子顕微鏡による観察方法とそれに用いられる真空下での蒸発抑制用組成物、走査型電子顕微鏡および透過型電子顕微鏡

発明者：針山孝彦、高久康春、鈴木浩司、村中祥悟、太田 勲、下村政嗣、石井大祐

5 医学研究費取得状況

	平成 24 年度	
(1) 文部科学省科学研究費	3 件	(23 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0 件	(0 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	1 件	(19 万円)
(4) 財団助成金	0 件	(0 万円)
(5) 受託研究または共同研究	0 件	(0 万円)
(6) 奨学寄附金その他 (民間より)	0 件	(0 万円)

(1) 文部科学省科学研究費

1. 藤江三千男 (分担者) 基盤研究 (C)

「ソラフェニブによる肝細胞癌多段階発癌阻止の可能性」

3万円 (継続)

代表者：竹原康雄 浜松医科大学医学部附属病院 教授

2. 藤江三千男 (分担者) 基盤研究 (C)

「単糖骨格由来合成化合物の造血器腫瘍治療薬開発に関する研究」

10万円 (継続)

代表者：中村悟己 浜松医科大学医学部附属病院 助教

3. 柴田清 (分担者) 基盤研究 (C)

「単糖骨格由来合成化合物の造血器腫瘍治療薬開発に関する研究」

10万円 (継続)

代表者：中村悟己 浜松医科大学医学部附属病院 助教

(3) 他政府機関による研究助成

1. 藤江三千男 (分担者) JST A-Step

「リン糖骨格を基盤としCdc25Bの発現抑制を誘導する新しい分子標的抗腫瘍剤の開発」

19万円 (新規)

代表者：山下 光司 創造科学技術大学院 特任教授

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	0 件
(2) シンポジウム発表数	1 件	0 件
(3) 学会座長回数	0 件	1 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件
(5) 学会役員等回数	0 件	3 件
(6) 一般演題発表数	1 件	

(1) 国際学会等開催・参加

3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表

1. Sakabe J, Yamamoto M, Motoyama A, Ohta I, Hirakawa S, Hibino T, Tokura Y: Mandatory Role of kallikrein5 in profilaggrin maturation and possible association of its impairment with atopic dermatitis. The 12th Kyungpook-Hamamatsu Joint Medical Symposium Hamamatsu Meeting, Hamamatsu(Japan), Sep, 2012.

5) 一般発表

ポスター発表

1. Sugawara H, Iwamoto K, Bundo M, Ueda J, Miyauchi T, Komori A, Kazuno A, Adati N, Kusumi I, Okazaki Y, Ishigooka J, Kojima T, Kato T: Hypermethylation of serotonin transporter gene in bipolar disorder detected by epigenome analysis of discordant monozygotic twins. 28th CINP World Congress of Neuropsychopharmacology, June 2012, Stockholm(Sweden).

(2) 国内学会の開催・参加

4) 座長をした学会名

村中祥悟：医学生物学電子顕微鏡技術学会第 28 回学術講演会、2012 年 5 月、盛岡

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

1. 小島俊男 日本家族性腫瘍学会 評議員
2. 村中祥悟 医学生物学電子顕微鏡技術学会 理事
3. 太田 勲 医学生物学電子顕微鏡技術学会 評議員

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数 (レフリー数は除く)	0 件	0 件

(3) 国内外の英文雑誌のレフリー

小島俊男 Journal of Bone and Mineral Metabolism (日本) 3回

小島俊男 Brain & Development (日本) 4回

9 共同研究の実施状況

	平成 24 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	0 件
(3) 学内共同研究	0 件

10 産学共同研究

	平成 24 年度
産学共同研究	0 件